



鳥の宝を
守り伝えるために
#02
NPO法人 徳之島虹の会

5mm以下の
小さなプラスチックのことを、
マイクロプラスチックと
いいます。

マイクロプラスチック

一次マイクロプラスチック

洗顔料や歯磨き粉のスクラブ剤などに利用される小さなプラスチック（プラスチックビーズ）。主に家庭の排水溝などから下水処理を通り、海へと流出。一度流出すると回収はできません。

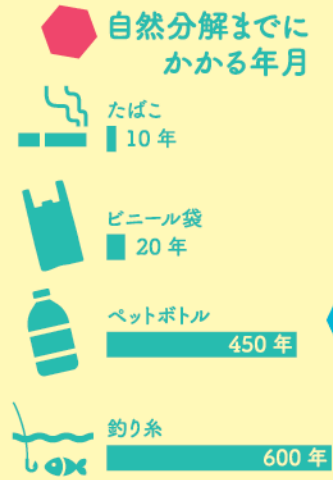
二次マイクロプラスチック

街に捨てられたビニール袋やペットボトル、タバコのフィルターといったプラスチック製品が側溝などから川を伝って海へ流出し、年月をかけて破砕されてマイクロサイズになったもの。マイクロ化する前であれば、ある程度の対策も可能。

毎年、約800万トンのプラスチックが海に流出しています。

人工的に作り出されたプラスチックは、自然界で分解されるまでに途方もない時間がかかります。そのあいだに波に砕かれて、マイクロプラスチックになってしまったら、もう回収するのは困難です。このままだと、30年以内に、海中のプラスチック量は魚よりも多くなるといわれています。

自然環境への悪影響はもちろん、魚を食べている私たちへの健康リスクも懸念されています。プラスチックそのものは決して悪いものではありません。大切なのは、「使用したあと適切に処理すること」「代替可能なものはできるだけ置き換えること」。住民ひとりひとりの取り組みが重要なのです。



徳之島の海ゴミ

私たちの住む徳之島の海岸にも、たくさんのゴミが流れてきています。海を漂うプラスチックゴミは、季節風によって流れる方向が変わります。

冬の寒い時期、北東からの風で流されてきた大量のゴミが、島の東側、中でも金見の海岸に漂着します。そして

このゴミは、風向きが変わったら、また海に流れていってしまうのです。海に流れたゴミは砕かれてマイクロプラスチックになり、回収できなくなってしまいます。つまり、回収するなら今しかありません。

金見海岸 清掃会

2022年 2月27日(日)

10:00~16:00のあいだ、都合の良い時間にご参加ください。詳細は来週の徳之島ガイド!

